

名前【 】

稚アユぴちぴち 姫路・揖保川



上流を目指して川をさかのぼる稚アユ。姫路市余部区

天然アユの遡上^{さかのぼり}が、姫路市やたつの市など兵庫県西部を流れる揖保川流域でピークを迎えている。生命力をみなぎらせた稚アユが、水しぶきを上げて上流を目指す。

アユは秋に河口付近でふ化した後、冬の間は海で過ごす。春になると川をさかのぼり、上流で成魚となつて産卵期を迎える。揖保川漁業協同組合（宍粟市）によると、今年は3月下旬から下流域での遡上を確認。姫路市余部区の井堰^{せき}では現在、体長8センチほどの稚アユが水面を跳びはねる様子が観察できる。

同漁協の伊藤良二理事（57）は「野生のアユは厳しい競争にさらされる。今年もたくさん戻ってきてくれてうれしい」と話していた。同流域では26日にアユ釣りが解禁される。（小林良多）

① 次の質問に答えましょう。

㊦ 読みがなを の中に書きましょう。

稚アユが水面を跳びはねる様子が 観察できる。

㊧ 「稚アユ」とはどんなアユですか。

㊨ 記事を参考にして、下の「天然アユの遡上」を説明する文を完成しましょう。

アユは()に河口付近でふ化した後、()の間は海で過ごす。()になると川をさかのぼり、上流で成魚となって産卵期を迎える。

② この流域でアユが解禁されるのはいつですか。

月 日